



# ～ 夢ひとすじに ～ 宮原中だより 学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和 7 年 度 第 8 号  
令和 7 年 1 2 月 1 日 (月) 発行  
さいたま市立宮原中学校  
ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>  
メールアドレス  
[miyahara-j@saitama-city.ed.jp](mailto:miyahara-j@saitama-city.ed.jp)



## 『クリスマスはどう過ごす？～世界のクリスマスの過ごし方～』



校 長 田 中 和 浩

「冬晴や できばえのよき 雲ひとつ」 岡田史乃  
「うつくしき 羽子板市や 買はで過ぐ」 高浜虚子

「クリスマス」とは、どんな日なのでしょう？  
「クリスマス」は、イエス・キリストの降誕を祝う行事で、その行事が行われた日が、12月25日だそうです。

「クリスマス」を英語表記にすると、「Christmas」。これは、キリストの「Christ」とミサの「mass」を合わせて成立している言葉です。  
また、サンタクロースの由来は、4世紀ごろ、いまのトルコにあったキリスト教会の祭司セント・ニコラスと言われています。セント・ニコラスは、姿を変えては人知れず貧しい子どもたちに救いの手を差し伸べていたそうです。

日本でも、いまでは家族や大切な人と過ごすことが定番となった「クリスマス」ですが、世界の国の人々はどのように過ごしているのでしょうか。

イギリスでは、1か月ほど前からツリーなどの装飾が始まります。また、「サンタクロースをもてなす」ことが伝統となっていて、特別な料理やお酒を用意します。年に1度、家族や大切な人との絆を深める日になっています。

ドイツでは、生地の中にレーズンやレモンピール、ナッツなどがふんだんに練りこまれた「シュトレン」というパン菓子を、毎日少しずつスライスして食べていき「クリスマス」を待つ、という伝統的な過ごし方があります。

南半球にあるオーストラリアでは、真夏にクリスマスが訪れます。そのため、海やプールでパーティーが行われ、サンタ帽をかぶり、水着姿でバーベキューなどをしてお祝いするようです。

私は、「慈悲（じひ）」や「感謝」の気持ちを表す日として過ごしたいと思います。みなさんは、どのように過ごされますか？

(参考：JAL SKYWARD+HP より)



### ★ 人権について考えよう～「子どもの権利条約」について～ ★

「子どもの権利条約」とは、世界中の子どもたちが安全な環境で安心して生活ができるために、守られるべき権利について定められた合意で、日本は1994年に批准しています。

子どもには、「誰かのためではなく自分のために生きることができ、自分の意見を表明する権利がある」とするものです。

その一方で、「守って甘やかし、権利だけを認めていては、子どもがダメになる」という意見もあります。しかし、条約が子どもに保証しているのは、「子どもが、自分のために、自分らしく生きるための最低限を保証したもの」であり、すべてを子どもの言うとおりにするよう求めているわけではありません。

#### 【4つの原則】

○差別の禁止

○子どもの最善の利益

○生命、生存及び発達に対する権利

○子どもの意見の尊重

大人として子どもの権利を保障するために必要なことは、その子話をよく聞き、大人として予想できることや選択肢を伝え、子どもの決定をサポートしていくことであると考えます。共に悩み、共に考えることで、手助けをしながら、その子が自分で自分の人生を生きて行けるように支援することなのだと思います。

(出典：The asahishimbun SDGs ACTION 柳原由以氏（弁護士）執筆記事より)